第３３回（平成２６年度）

柏シニア杯争奪

東葛地区親睦少年野球 卒業記念大会

優　勝　加岸ジュニアファイターズ

準優勝　ミ ラ ク ル ズ

第三位　シャークスボーイズ

第三位　東部フェニックス

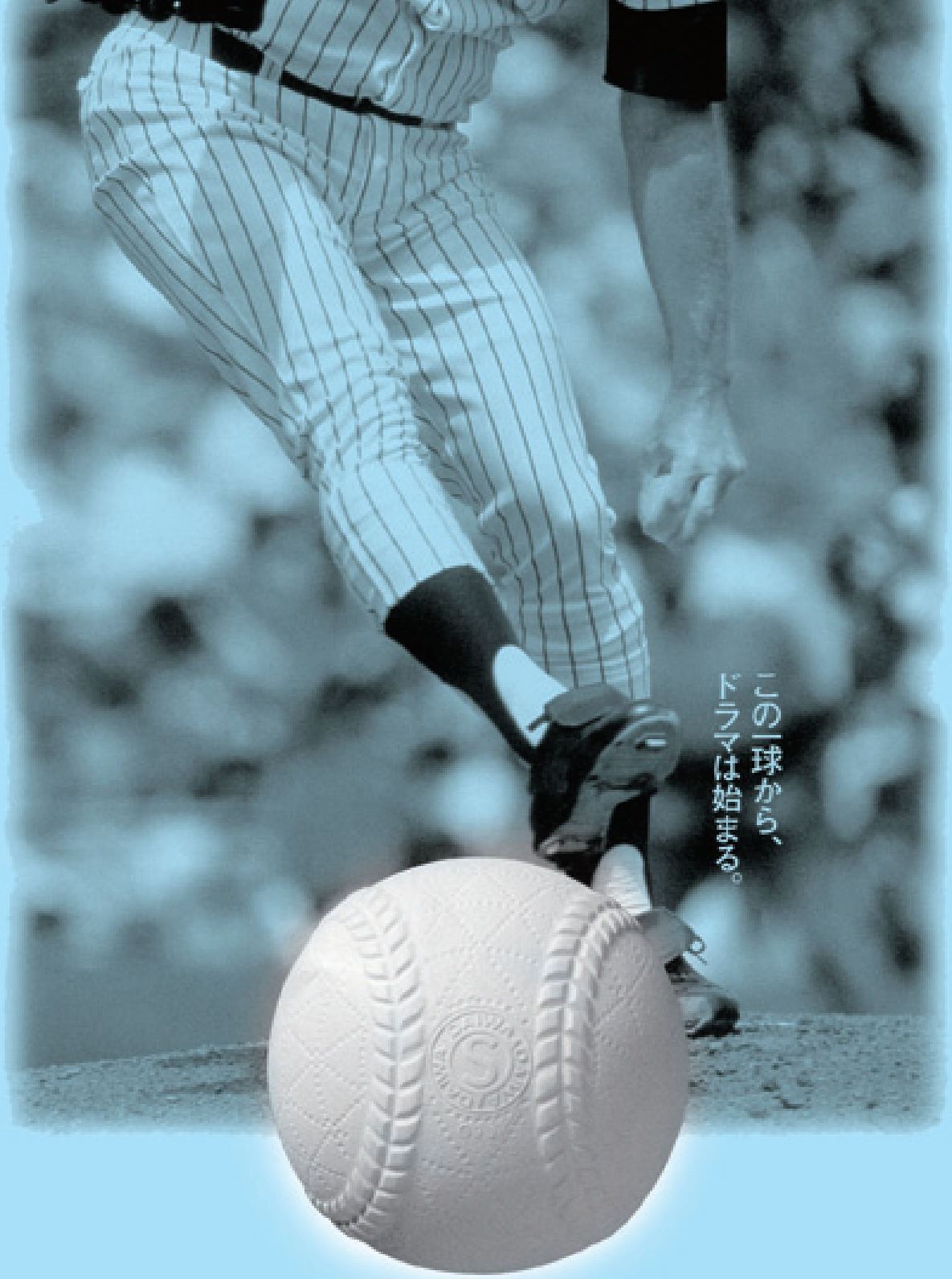


主　催　東葛地区親睦少年野球大会　運営委員会

協　賛　柏市・流山市・野田市・松戸市　各少年野球連盟

後　援　ダイワマルエス株式会社　柏リトルシニア野球協会

株式会社 共同写真企画　朝日スポーツキッズ



優れた品質で高い評価を頂いているマルエスボールは、デザインを一新。
より進化した性能と、公認球としての信頼性で、スポーツマインドをサポートし続けます。

MARUS BALL
マルエスボール

(財)全日本軟式野球連盟公認球

◆A号、B号、C号、D号 ◆スピニングボール ◆バッティングボール



ダイワマルエス株式会社 兵庫・大阪 東京・名古屋・九州

ダイワボウグループ

第３３回（平成２６年度）柏シニァ杯争奪

東葛地区親睦少年野球卒業記念大会

目　　次

大会優勝旗＆トロフィ（写真）…… 1

第３３回柏シニア杯争奪

東葛地区親睦少年野球卒業記念大会 成績表…… 2

大会概評 …… 3

～～～

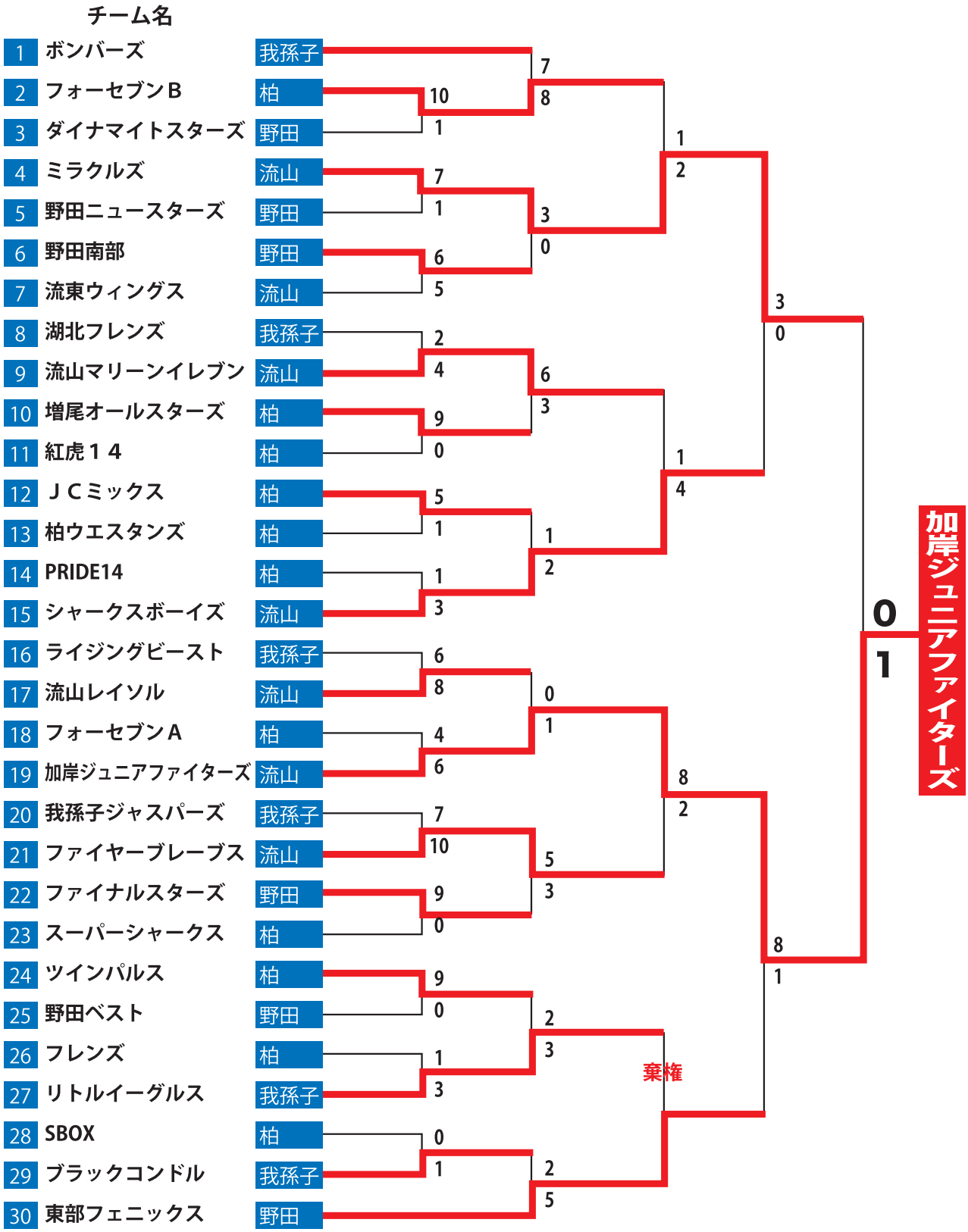
大会優勝旗及びトロフィー





第33回 柏シニア杯争奪

東葛地区親睦少年野球 卒業記念大会 成績表



選手宣誓：ＪＣミックス

３位決定戦
日程の都合で開催しませんでした

☆大会概評☆

加岸ジュニァファイターズが優勝

流山勢大活躍　ベスト４に３チーム

第３３回東葛地区少年野球卒業記念（柏シニア杯争奪）大会は、平成２６年１２月７日(土)、１４日(土)、２０日(土)、２１日(日)の４日間にわたって柏シニアリーググランド（初日と最終日）及び野田河川敷グランドほかに於いて３０チームが参加して盛大に開催された。

今年度の開催は、初日は柏シニアリーググランドで開会式を行った後、フォーセブンＢ vs ダイナマイトスターズの１回戦１試合のみだったが、二日目の１２月１４日（土）は野田市と我孫子市からの参加チームが学校行事その他の都合によって、一部組み合わせの開始時間を変更して野田河川敷グランドと関宿少年野球場、我孫子市民体育館球場で行われた。

そして三日目の１２月２０日（土）は、野田河川敷グランドに於いて準々決勝戦４試合を行い、同日予定していた準決勝戦２試合は天候の関係で最終日に持ち越された。この結果、最終日の１２月２１日（日）は柏シニアリーググランドで準決勝戦２試合と決勝戦を行い、今年度に限って三位決定戦は行わず、２チーム３位同成績の特別措置を適用した。

大会は１回戦の二日目から白熱した。とくに野田南部 vs 流東ウイングス戦は、両軍譲らず息詰まる展開から７回を終了しても勝負がつかず、サドンデス試合となり野田南部が快勝した。その他、ＳＢＯＸ vs ブラックコンドル戦、プライド１４ vs シャークスボーイズ戦、ライジングビースト vs 流山レイソル戦などは１点を争うシーソーゲームとなって、このあたりはさすが６年生だけのハイレベルの戦いで、早くも大会は大いに盛り上がった。

さらに２回戦では、シャークスボーイズが優勝候補の下馬評が高かったＪＣミックスを僅差で撃破、加岸ジュニァファイターズと流山レイソルの流山勢対決は、０－０の展開から決着はサドンデス試合となって最後は加岸ジュニァファイターズが流山レイソルを制してベスト８進出を決めた。また、ボンバーズ vs フォーセブンＢの一戦も、３－３のタイスコアからサドンデス試合となり、フォーセブンＢが逆転サヨナラ勝ちを収めた。この試合敗れたボンバーズは最終回までリードしていただけに、同点に追いつかれさらに逆転負けしたしたのは残念だった。

なお、この日ミラクルズ vs 野田南部戦ではミラクルズが頑張って完全試合で勝利したのは、大会史上初めての快挙だった。

かくしてベスト８に進出したのは、フォーセブンＢ、ミラクルズ、流山マリンイレブン、シャークスボーイズ、加岸ジュニァファイターズ、ファイヤーブレーブス、リトルイーグルス、東部フェニックスの各チームで、このうち流山地区チームが５チームを占める活躍となった。

栄冠への登竜門となる準々決勝戦は、１２月２０日（土）野田河川敷グランドのＡＢ面で行われた。まずＢ面での第一試合は、流山マリンイレブン vs シャークスボーイズの流山同士の対

決となり、シャークスボーイズが快勝した。続く第二試合はフォーセブンB vs ミラクルズ戦で、この試合は息詰る接戦の末ミラクルズが勝利して、シャークスボーイズとともにベスト４進出を果たした。さらにA面のリトルイーグルス vs 東部フェニックス戦は、リトルイーグルスが我孫子市の事情で棄権したため、東部フェニックスの不戦勝となった。また、加岸ジュニァファイターズ vs ファイヤーブレーブスの流山勢対決は、加岸ジュニァファイターズが完勝してベスト４進出を決めた。なお、この日当初の予定は第三試合の時間帯に準決勝戦２試合を行う筈だったが、折からの天候により準決勝戦は翌日の最終日に延期された。

最終日１２月２１日（日）の準決勝戦は、柏シニアリーググランドで行われた。前日の夕方からの雨で開催が心配されたが、柏シニアリーグ関係者及び選手の皆さんの一生懸命なグランド整備のおかげで、ほぼ予定通りの時間に開催することが出来た。

準決勝戦の第一試合は、加岸ジュニァファイターズ vs 東部フェニックス戦で、加岸ジュニァファイターズが打線の爆発によって大差で勝利すれば、第二試合は今大会で旋風を巻き起こしたシャークスボーイズとミラクルズの流山北部地区チーム同士の対決だ。結果はミラクルズの投手陣が頑張って完封勝ちして決勝戦に進出した。

栄冠を賭けた決勝戦は流山地区同士の対決となった。緊迫した試合展開の中、加岸ジュニァファイターズが２回相手のエラーによって挙げた１点を守りきって勝利、栄冠を掌中にした。この試合は両チームの投手の好投で盛り上がったが、最後は加岸ジュニァファイターズが接戦をモノにして実力ＮＯ．１を証明した。敗れたミラクルズは今大会では投手陣は大活躍だったが、最終戦では打線が振るわず涙を飲んだ。

大会を振り返ると、優勝候補の下馬評が高かったチームが、二日目以降次々と敗退して姿を消したが、その中で流山地区チームの活躍が一際目立った。ベスト８内に５チーム、ベスト４内に３チームが進出したことがそれを如実に物語っている。

なお、運営面では学校行事との兼ね合いでなどで途中から日程が一部変更を余儀なくされたが、この点は基本的な大会の運営方法並びに開催時期などを含めて慎重に検討して、次回への反省材料としたい。

最終日の成績は以下の通り。

★準決勝戦　１２月２１日（日）　柏シニアグランド

東部フェニックス	０	１	０	０	０	＝　１
加岸ジュニァファイターズ	０	１	０	０	Ｘ コールド	＝　８

▽審判：主審・加納、塁審・飯村、横山、中川　控え審判・長澤

★準決勝戦　１２月２１日（日）　柏シニアグランド

ミラクルズ	１	０	０	２	０	０　＝　３
シャークスボーイズ	０	０	０	０	０	０　＝　０

▽ 審判：主審・田村　塁審・原田、風間、小林　控え審判・豊田

★決勝戦　１２月２１日(日)　柏シニァグランド

加岸 ジュニアファイターズ	０	１	０	０	０	０	＝　１
ミラクルズ	０	０	０	０	０	０	＝　０

▽主審：佐久間　塁審：小泉、渋谷、平田　控え：豊田（各役員）


KAGISHI
KAGISHI
KAGISHI



第三位　シャークスボーイズ　-流山-



第三位　東部フェニックス-野田-

開会式

平成26年12月7日
於:柏シニアグランド



山田会長



大会役員及び来賓の善積氏



整列する出場各チーム





前年度優勝・準優勝チームから
優勝旗・トロフィの返還



来賓：善積信夫氏





平田大会運営委員長

元気に選手宣誓!!



熱戦











スナップ!










Phoenix


SUMITO
8






Miracles

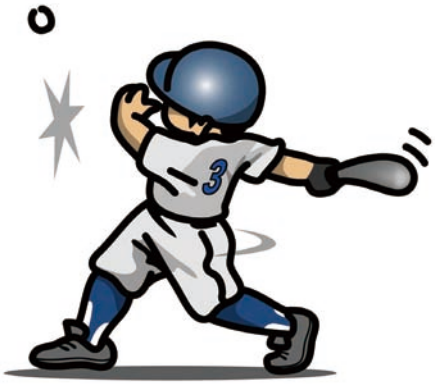




















受賞スナップ

平成26年12月21日
於：柏シニアグランド

閉会式













表彰式のお手伝いをする柏シニアの先輩達





柏シニアの先輩の挨拶


Miracles




Phoenix
東舞地区親睦少年野球 卒業記念大会

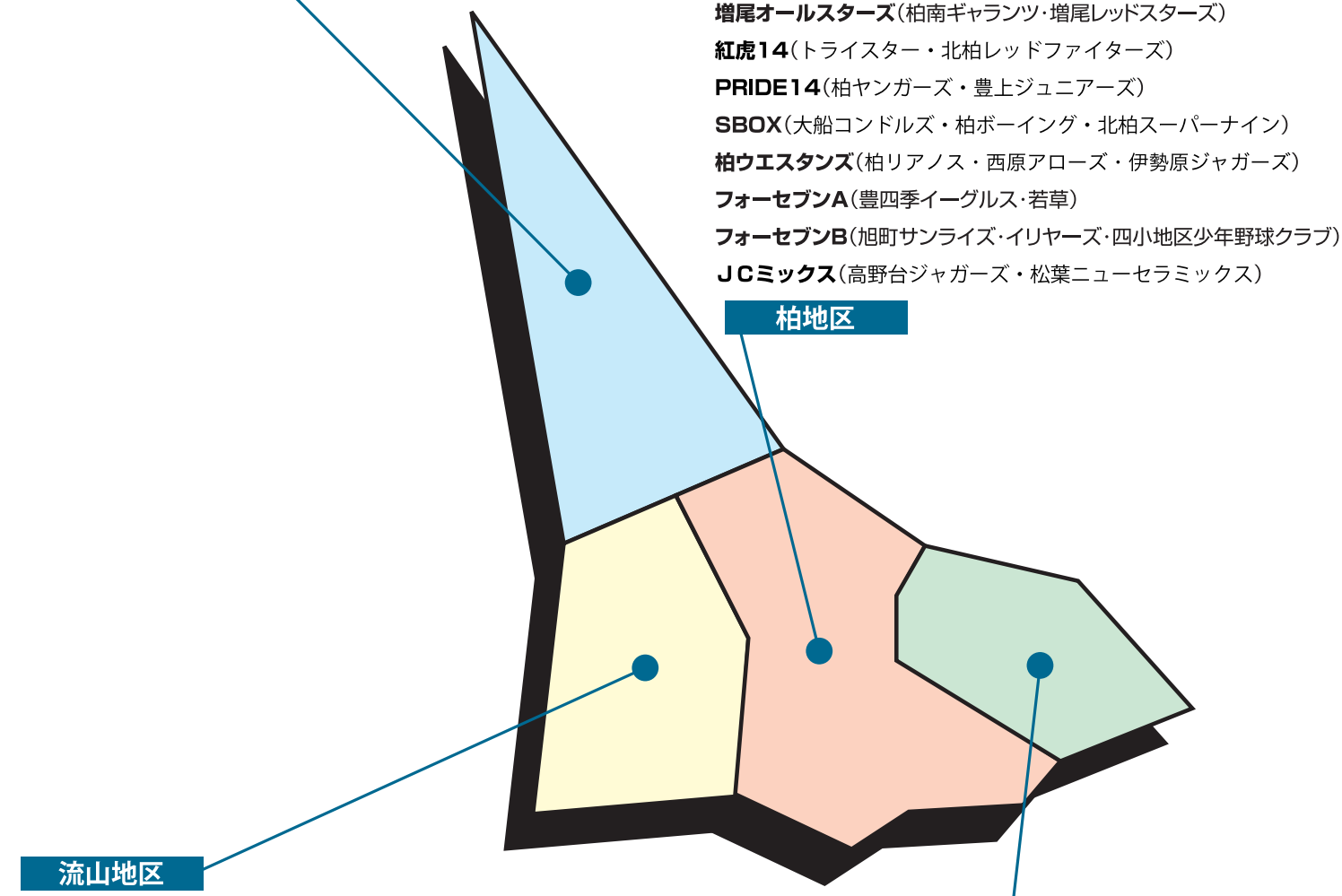

Sharks

第３３回 （柏シニア杯争奪）東葛地区親睦少年野球卒業記念大会　参加３０チーム

東部フェニックス（単独）
野田ベスト（柳沢イーグルス・レッドファイターズ）
ファイナルスターズ（清水タイガース･山崎クーガーズ･野田ロッキーズ）
野田南部（西新田子ども会･中地ベースボールクラブ･南部ルーキーズ）
ダイナマイトスターズ（梅郷パワーズ・上町少年野球部・中根ヤンキース）
野田ニュースターズ（野田ドンキーズ･野田シャイニング･関宿バッハローズ）

野田地区

ツインパルス（光インパルス･新柏ツインズ）
フレンズ（高田ウインスターズ･千代田ファイターズ･新栄ファイヤーズ）
スーパーシャークス（スーパーフェニックス･光ヶ丘シャークス）
増尾オールスターズ（柏南ギャランツ･増尾レッドスターズ）
紅虎14（トライスター・北柏レッドファイターズ）
PRIDE14（柏ヤンガーズ・豊上ジュニアーズ）
SBOX（大船コンドルズ・柏ボーイング・北柏スーパーナイン）
柏ウエスタンズ（柏リアノス・西原アローズ・伊勢原ジャガーズ）
フォーセブンA（豊四季イーグルス･若草）
フォーセブンB（旭町サンライズ･イリヤーズ･四小地区少年野球クラブ）
ＪＣミックス（高野台ジャガーズ・松葉ニューセラミックス）



柏地区

流山地区

加岸ジュニアファイターズ（加岸ベアーズ・南流ファイターズ・鰭ヶ崎ジュニアフィンズ）
流東ウィングス（ありんこアントス・前ヶ崎クラブ･向小金ファイターズ）
流山マリーンイレブン（単独）
ミラクルズ（カージナルス･流山ホークス･小田急ライオンズ）
流山レイソル（江戸川台フェニックス･初石クーガーズ）
ファイヤーブレーブス（長崎ＦＬＢ・八木南クラブ）
シャークスボーイズ（流山シャークス・東深井ボーイズ）

我孫子地区

ボンバーズ（久寺家エラーズ･リトルキング）
我孫子ジャスパーズ（布佐ジャイアンツ･湖北台スパローズ）
リトルイーグルス（単独）
ブラックコンドル（ブラックバード・新木野コンドル）
湖北フレンズ（単独）
ライジングビースト
（サンスパッツ・リトルジャガーズ・ブラックタイガース）

東葛地区親睦少年野球卒業大会　歴代ベスト4

回数	開催年度	出場チーム数	優　勝	準優勝	第三位	第四位
1	1982 昭和57年	32	トライスター （柏）	リトルジャガーズ （我孫子）	伊勢原ジャガーズ （柏）	久寺家エラーズ （我孫子）
2	1983 昭和58年	34	沼南フラワーズ （沼南）	初石クーガーズ （流山）	春日フェニックス （野田）	カージナルス （流山）
3	1984 昭和59年		資料紛失につき不明	資料紛失につき不明	宮園イーグレッツ （流山）	江戸川台アトラス （流山）
4	1985 昭和60年		名戸ヶ谷アトミック	布施リトルジャイアンツ （柏）	資料紛失につき不明	資料紛失につき不明
5	1986 昭和61年	32	高野台ジャガーズ （柏）	布施リトルジャイアンツ （柏）	ドラゴンZ （沼南）	タイタンズ （流山）
6	1987 昭和62年	32	向小金ファイターズ （柏）	四小＆柏友 （柏）	西原アローズ （柏）	増尾クラブ （柏）
7	1988 昭和63年	28	増尾クラブ （流山）	千代田ファイターズ （柏）	江戸川台アトラス （流山）	伊勢原ジャガーズ （柏）
8	1989 平成元年	31	流山ミラクルズ （柏）	つくしアトミック （柏）	松葉ニューセラミックス （柏）	清水タイガース （野田）
9	1990 平成2年	27	流山ホークス （流山）	南部小 （鎌ヶ谷）	道野辺ファイターズ （鎌ヶ谷）	レッドファイターズ （野田）
10	1991 平成3年	32	高野台ジャガーズ （流山）	長崎ライオンズ （流山）	ありんこアントス （流山）	沼南フラワーズ （沼南）
11	1992 平成4年	36	ABF （柏）	千代田ファイターズ （柏）	向小金アントス （流山）	リアノス （柏）
12	1993 平成5年	36	西平井パワーズ （柏）	流山ミラクルズA （流山）	流山南部 （流山）	増尾オールスターズ （柏）
13	1994 平成6年	38	中原ツインズ （流山）	新松戸スターズ （松戸）	梅郷パワーズ （柏）	トライスター （柏）
14	1995 平成7年	40	流山レイソル （柏）	ありんこアントス （流山）	南部少年野球クラブ （鎌ヶ谷）	流山ミラクルズ （流山）
15	1996 平成8年	33	光シャークス （流山）	柏ボーイング＆トライスター （柏）	流山レイソルA （流山）	小金原ビクトリー （松戸）
16	1997 平成9年	23	清水タイガース （柏）	ダイナマイトツインズ （野田）	スーパースターズA （流山）	サクセス （流山）
17	1998 平成10年	31	柏ボイジャー （野田）	ミラクルズ （流山）	松葉ニューセラミックス （柏）	常盤平メッツ （松戸）
18	1999 平成11年	29	千代田ヤンガーズ （柏）	増尾オールスターズ （柏）	清水タイガース （野田）	長崎FLB （流山）
19	2000 平成12年	25	流山レイソル （柏）	ダイナマイトスターズ （野田）	ファイヤーブレーブス （流山）	スーパーシャークス （柏）
20	2001 平成13年	23	ジュニアファイターズ （流山）	千代田ファイターズ （柏）	北柏スーパーナイン （柏）	ダイナマイトスターズ （野田）
21	2002 平成14年	27	ファイヤーブレーブス （流山）	ウルトラジャイアンツ （流山）	花井ヤンキース ※都合により三位決定戦は、行われませんでした。	柏スーパーエース （柏）
22	2003 平成15年	27	ファイヤーブレーブス （流山）	高野台ファイターズ （柏）	ジュニアファイターズ （柏）	ミラクルズ （流山）
23	2004 平成16年	24	千代田ゴールデンドリームス （流山）	ミラクルズ （流山）	柏フォーセブン （柏）	松葉ニューセラミックス （柏）
24	2005 平成17年	26	グレートレイソル （柏）	中松ボンバーズ （我孫子）	流北フレンズ （流山）	千代田ニューセラミックス （柏）
25	2006 平成18年	32	ジュニアファイターズ （流山）	リトルジャガーズ （我孫子）	加岸ベアーズ （流山）	ミラクルズ （流山）
26	2007 平成19年	33	大津ヶ丘ファイターズ （流山）	フォーセブン （柏）	ジュニアファイターズ （流山）	千代田ファイヤーズ （柏）
27	2008 平成20年	30	松葉ニューセラミックス （柏）	南部レッドヤンキース （野田）	八木ジュニアファイターズ （流山）	山崎タイガースA （野田）
28	2009 平成21年	29	ＮＲＪ （柏）	東深井ファイナルズ （流山）	ジュニアファイターズ （流山）	ブラックホークス （我孫子）
29	2010 平成22年	33	松葉ニューセラミックス （柏）	BLDスターズ （野田）	新富少年野球部 （柏）	我孫子リトルイーグルス （我孫子）
30	2011 平成23年	32	流山マリンベアーズ （流山）	ボンバーズ （我孫子）	高野台ジャガーズ （柏）	松葉ドリームス （柏）
31	2012 平成24年	28	流山ルーキーズ （流山）	流東ウィングス （流山）	フレンズ （柏）	流山マリンベアーズ （流山）
32	2013 平成25年	27	野田南部Y （野田）	流南キャノン （流山）	SBOX （柏）	流山Fマリンーズ （流山）
33	2014 平成26年	30	加岸ジュニアファイターズ （流山）	ミラクルズ （流山）	シャークスボーイズ（流山） 東部フェニックス（野田）	

東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ

昭和５１年夏に柏市、流山市、沼南町、我孫子市の各少年野球チームが相集い、夏休みの近隣地区親睦少年野球大会として産声を挙げる。発足の動機は、出場チームの殆どが各市町の大会では早々と敗退してしまうケースが多く、そのため夏休みの期間を持て余していたことから、流山市の流山バード（後のカージナルス　代表・山田晃一氏）、流山シャークス（代表・松崎日丸夫氏）、川長コイズ（後のブルーファイン　代表・角谷正一氏）、沼南町の沼南ジャリーズ（代表・相葉藤市氏）などが発起人となって、我孫子市のチームにも呼びかけて１４チームで第一回大会を開催。以降、毎年８月中旬の三日間に実施してきた。グランドは当時柏市議会議員であった松崎公昭氏（現カリフ少年野球大会会長　元衆議院議員）の協力を得て柏市民球場を使用した。

その後、同球場が土曜日と日曜日の使用が困難となったことに加え、出場チームも近隣から毎年増加の一途を辿って来たため、昭和５０年から昭和ゴムが主催しているＳＧ大会と提携して、同社のグランドを大会の専用会場とし、開催期間も毎年８月中旬の日曜日と最終土曜日、日曜日の三日間に変更された。

ちなみに、当大会はそれまで発足当初より長瀬ゴム工業（健康ボール）及び読売新聞柏専売店をメインに、柏そごうほかのスポット後援があったが、昭和５９年の躍進記念大会（出場は６１チームで二分割制で開催）を機に後援団体の集約化が検討され、昭和６０年から後援を昭和ゴムに一本化された。

この間昭和５７年に鎌ヶ谷市と野田市、市川市からの出場があり、６０年には出場チームの総数が６２に達した。また、５９年の躍進記念大会には、埼玉県越谷市、茨城県取手市、東京葛飾区などからの特別参加チームもあり、規模の拡大をみるとともに大会は益々隆盛を極めた。しかし、ここ数年は大会の運営上の問題と、出場チームの地理的条件、地域事情（同期間に大会が重複）などが原因で、近隣地区からの出場チームが減少して総数３０チーム前後に定着して来た。

大会の発展にともない、平成２年には創立１５周年記念パーティー（会場は昭和ゴム）も開催したが、この年に松戸市からの正式な出場も加わり、さらに平成１４年には埼玉県三郷市からも出場があった。

なお、当大会は出場チーム及び同関係者の自発的協力により役員組織（運営委員会）を構成、運営しているプライベート大会で、各市町の教育委員会ほか公共団体の支援は受けてないが、日頃から少年野球に対して深い理解のある一部企業などには、後援として協力を仰いでいる。

運営面については、当大会の発起人でもある山田晃一氏が中心となって、発足当初より歴代役員が一貫して実務を担当しているが、近年は各市町の少年野球連盟役員も自発的にこれを支えて、さらに体制が確立されてきた。会長は、昭和５１年から５４年までは角谷正一氏（上記及び割烹川長社長）、５５年から５７年間では鈴木　昭氏（我孫子ナマコン社長・非常勤）、５８年から６１年までは相馬義明氏（元沼南町少年野球連盟会長）がそれぞれ歴任し、６２年から山田晃一氏が就任して現在に至っている。

毎年１２月に開催している冬季大会は、平成５７年に卒業記念大会として６年生だけ（チームの編成は他チームとの混成も可）が出場する大会で近年定着している。

平成１０年から一時日本マクドナルド東葛地区各店の後援（後に辞退）があり、大会開催時に写真撮影などに常時協力してくれていた共同写真企画も、平成１４年から正式に後援に加わった。さらに平成１６年から朝日スポーツキッズも後援に加わり、同年から冬季大会のみ柏リトルシニア野球協会も協賛に加わって、以降冬季大会だけは頭に「柏シニア杯争奪」を呼称することとなった。なお、昭和６０年から大会使用球で後援してくれていた昭和ゴム（ＳＧボール）は、ボールの生産を中止したため、平成１８年から新たにダイワマルエス（マルエスボール）が代わって大会の正式な使用球となった。

東葛地区親睦少年野球大会・大会要項

平成11年10月改正
平成24年一部改定

大　会　名　夏季大会：東葛地区親睦少年野球夏季大会
　　冬季大会：東葛地区親睦少年野球卒業記念大会
主催・主管　東葛地区親睦少年野球大会運営委員会
後　　援　ダイワマルエス株式会社
　　柏リトルシニア野球協会（但し、冬季大会のみ）
　　朝日スポーツキッズ　株式会社 共同写真企画
開催期間　夏季大会：毎年８月中旬を初日とする三日間で開催する
　　但し、雨天などで中止となった場合は、予備日を設け行う。
　　冬季大会：毎年１２月の第一週を初日として開催する。
　　但し、雨天などで順延になった場合は予備日を設け行う。

目　　的　東葛地区各市町の親睦を図ることを主な目的として、交流を通じて青少年の健全育成に注力する。

出場資格　夏季大会：単独チームで３年生から６年生までの編成によるＡチームのみ。
　　但し、メンバー多数で２チーム出場希望の場合は、役員会に図り承認され場合に限り認められる。
　　冬季大会：メンバーは全て６年生のみとし、単独チームが編成できない場合には４チームまでの混成が認められる。
　　メンバーが多数の場合は２チームの出場も認められる。なお、出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督,コーチ,選手のユニホーム・背番号も統一しなくても良い。

参加チーム　夏季大会は原則として限度６４チームまでとする。出場枠は各市町の割り当てを別途に定める。なお、各市町ごとに交流している各地区チームの出場も認めるが、この場合は当該市町の出場枠を越えてはならない。新規参加市町の出場枠は役員会で決定する。

参加会費　原則として、１チーム5,000円。（但し､特別処置として変更する場合がある。）

使用グランド　流山市運動公園球場(流山市)、上耕地グランド(流山市)、江戸川河川敷グランド(野田市)、その他各チームから提供されたグランド。

審判当番　①出場チームは理由の如何を問わず、必ず審判当番を行う。
　　不履行の場合はペナルティ（失格・次回からの出場停止・その他）が課せられる。
　②当番審判員の服装は、審判服又は、当該チームのユニホーム及びトレーニングウェアとし、短パン(夏季)、サンダル履きは厳禁。帽子は必ず着用すること。
　★審判当番者は試合開始に際して、必ずグランド整備（準備）をする。なお、当該試合チームもこれに協力することを義務付ける。
　③大会初日、二日目の審判は当該チームが行い、最終日は原則として役員が務める。但し、役員が不足した場合は、試合のないチームの協力を仰ぐ場合がある。
　④審判当番チームは、必ず審判道具を持参すること。
　⑤審判当番は各チームとも原則として2名とし､ローテーションは以下の通りとする。
　a.一日一面で4試合が行われる場合。
　　第一試合の審判は第二試合のチーム､第二試合の審判は第一試合のチームが担当する｡第三試合及び第四試合の審判もこれに準ずる。
　b.一日一面で4試合の場合(第三試合･第四試合にシードチームが入った場合)。
　　第一試合と第二試合はa項同様に交互に行うが､第三試合は第一試合の負けチームと第四試合のシードチームが､第四試合は第二試合の負けチームと第三試合のシードチームが行う。
　c.一日一面で3試合の場合(同じ条件の組み合わせ)。殆どが初日の試合
　　第一試合の審判は第三試合のチーム､第二試合は第一試合のチーム､第三試合は第二試合のチームがそれぞれ行う。
　d.一日一面で3試合の場合(勝利チームがダブルヘッダーの場合)。大会二日目
　　第一試合と第二試合はa項同様に交互に行うが､第三試合については第一試合･第二試合の負けチームが行う。(通称:負け残り審判)。
　e.その他組み合わせが変則となった場合大会本部役員で協議し､別途指示する。

⑥審判当番者は、試合終了後必ずスコアカード（記録用紙）に、得点経過・審判氏名（フルネーム・チーム名）の記入を義務付ける。

◇最終試合の審判はスコアカード記入後、グランド責任者に提出する。グランド責任者は速やかに事務局に報告してください。

大会規定　最新年度「公認野球規則」並びに全日本軟式野球連盟「少年野球に関する事項」及び以下の特別規定（含むグランドルール）を適用する。

①全試合7イニング制とする。（但し、時間・コールドゲームを適用する。）

②試合時間はシートノックを除き1時間30分。それ以上経過して同点の場合は特別延長ルール(1死満塁、前回最終打者の次打者より攻撃)を適用する。なお、シートノックは各チーム5分以内とする。

③コールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差で成立する。
但し、決勝戦のみコールドゲームの適用はしないが、時間は適用する。
なお、時間に達しても同点の場合は特別延長ルールを適用する。

④試合が7回終了して時間があっても延長戦は行わず、特別延長ルールを適用する。
7回を終了しなくても、時間に達した場合も同様とする。

⑤その他、グランドルールは当該グランドの特別ルールを適用する。

⑥ベンチは若番が1塁側とし、先攻、後攻はジャンケンで決める。

⑦大会使用球は、マルエスボールC号。

（投手の投球回数を一試合5イニング（15アウト）までとし、一日10イニング（30アウト）までとする。

◆冬季大会＜卒業記念大会＞特別規則　［六年生大会］

試合の勝ち負けよりも、六年生の選手をできるだけ試合に参加させて下さい。
指名代打(DH)2名を必ず加え、攻撃は11名で行うことを義務付ける。
指名代打は守備に付ける事はできるが、ベンチに下がった選手は再び出場することはできない。メンバーが9名しかいない時はDH制の適用を除外する。

◆卒業記念大会に出場するチームの監督は、事務局が用意したリボン付ける事を義務づける。リボンがない場合は監督と認めない。ゆえに抗議権等認めない。

表　彰　優勝・準優勝・第三位・第四位の団体表彰のみ。個人賞は原則としてなし。

補足事項　1.服装は選手及び指導者ベンチ入りコーチ3名)のユニホーム着用を義務付ける。
但し、代表者、スコアラーはこの限りではない。選手と指導者のユニホームには必ず背番号をつけ、主将は10番、監督は30番、コーチは28番と29番とする。
但し、冬季大会はこの限りではない。なお、ベンチ入り出来る指導者は5名までとする。

2.選手及び指導者は必ず帽子の着用を義務付ける。金属のついたスパイクは禁止。
ヘルメットは打者、走者、次打者、ランナーコーチャーともに着用する。
捕手は試合時、練習時にかかわらずマスク、ヘルメット、レガースを必ず着用する。控え捕手についても同様とする。

3.冬季大会については、審判及び役員が認めた場合に限りジャンバー、グランドコート着用でのプレーが許される。

4.応援者の汚いヤジや言動に対しては、当該審判員及び役員（試合当事者でも可）は直ちに注意を促し、改まらない場合は当該審判員及び役員は退場させる権限を持つ。

5.夏季・冬季期間の大会であるので、当該チームは選手の健康管理に十分に気を配ること。
（ベンチ入り指導者5名以外に、女性の介護員1～2名ベンチに入って、給水などの世話をすることができる。）
※試合中の病気やケガについては、当該チームで応急処置・対処すること。

6.開会式・閉会式には、各チームでプラカード・団旗（規格は特に定めない）を持参すること。

7.入場式では、出場チームの指導者1名（ユニホーム着用）は必ず最後尾に参列する。

8.抽選会などにおけるチーム登録については、正式チーム名・連絡責任者・監督の住所・氏名(フルネーム)・電話番号・携帯番号(持っている人は)を必ず届け出ること。代理抽選の場合も同様とする。

9.シートノック・試合前の練習の際も、捕手は必ず防具を付けること。捕手の控え選手も必ず防具を着用すること。

10.グランド提供及び用具の提供を各チームにお願い致します。
（バックネットセット・ベース・ピッチャープレート・メジャー・ラインカー・石灰・トンボ・得点版・チョーク）。

東葛地区親睦少年野球卒業記念大会役員名簿

（平成２５年１１月改選）

※平成27年2月一部変更

会長	山田晃一	柏流さよなら少年野球大会会長
副会長	青木誠	野田市少年野球連盟役会長
副会長	金丸正孝	柏市少年野球連盟会長
副会長	平田宗久	流山市少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務		
運営副委員長	加納貞夫	野田市少年野球連盟役員
審判部副部長兼務		
審判部部長	藤井豊務	柏市少年野球連盟役員
審判部副部長	松本秀樹	
審判部副部長	川口祐司	松戸市少年野球連盟役員
事業部長	小泉博康	
事業部副部長	大割健夫	柏市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)	今野正博	野田市少年野球連盟役員
会計監査役兼務		
運営委員(事業部担当)	八鍬昌次	流山市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)	高崎久明	柏市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)	柴田清光	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)	我妻和憲	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	北井恒夫	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	渋谷重雄	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	梅田敦司	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	西ケ迫勝宏	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	郄井勇二	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	豊田穣	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	堀江速人	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	岡野誉	野田市少年野球連盟会長
運営委員(審判部担当)	湯本秀次	野田市少年野球連盟副会長
運営委員(審判部担当)	内田欽也	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	八木澤巖	柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	吉田繁	柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	鈴木三郎	柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	濱田健	柏市・松葉ニューセラミックス
運営委員(審判部担当)	桑名裕介	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	居倉諭	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	吉岡貴明	松戸市少年野球連盟役員
顧問	善積信夫	ダイワマルエス東京営業所長
顧問	酒井征司郎	柏リトルシニア事務局長
顧問	池端昭和	柏リトルシニア監督

第33回　東葛地区親睦少年野球卒業記念大会　会計報告

◆収入の部		合計　¥249,830
大会参加費	@5,000×30チーム	¥ 150,000
柏リトルシニア		¥ 50,000
ボール販売手数料		¥ 6,000
共同写真企画（冊子広告料）		¥ 10,000
ポパイより		¥ 5,000
第32回繰越金		¥ 28,830
■寄贈品　㈱ダイワマルエス　(ボール4ダース)		

◆支出の部	合計　¥172,161
＊大会運営費	¥ 32,220
抽選会場費	¥ 6,300
参加賞用ボール代	¥ 25,920
＊賞状･トロフィー代	¥ 49,941
賞状	¥ 10,000
トロフィー代	¥ 23,333
シニア杯レプリカ代	¥ 16,608
＊資料代（印刷･製本）	¥ 50,000
HP用掲載データ作成	¥ 50,000
＊事務局経費	¥ 20,000
通信費（資料コピー代･HP管理費ほか）	¥ 20,000
＊審判員昼食代	¥ 20,000
12/7･13･14･20･21日	¥ 20,000

収入 ¥249,830円－支出 ¥172,161円=収支合計　¥77,669円は第34回大会に繰り越します。

平成26年12月22日　会計担当　　平田　宗久

平成26年12月24日平田会計担当から提示されました、平成26年度会計帳簿および収支決算書につきまして、帳簿並びに関係証票書類に基づき監査の結果、会計基準に則り適正に処理されているものと認めます。平成26年12月24日　会計監査担当　今野　正博

オールカラーで届ける感動!

東葛キッズのスポーツ情報なら、毎月10日と30日の
朝日新聞に折り込まれる「朝日スポーツキッズ」が一番!
取材力を生かしたオールカラー、迫力満点の紙面で
紹介されると「まるでプロ選手みたい!」と大好評。
インタビューなどの読み物や、大会情報も充実しています。
大切な思い出と貴重な記録の詰まった縮刷版もどうぞ!

●松戸　●柏　●我孫子　●野田
●流山　●鎌ヶ谷　●白井　●印西



ASA　子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ"
THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19 吉野ビル3F　TEL:04-7143-4021　FAX:04-7143-3453

Forever Glory Days!



嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！

全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7（軟式野球会館）　☎03-5474-0741

◆本　社：TEL06-6453-5981　◆中部支店：TEL052-783-0825
◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741　◆九州支店：TEL092-474-8621

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
（一人あたり2,500円から7,000円）

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
（一人あたり3,500円から）

●NER企画のスタンス●

1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。

2,一枚の写真の中で主役は一人!

3,子供たちの表情を重視します!

4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

NER企画

スポーツ少年団・
イベント・
その他撮影承ります。

〒277-1121 千葉県我孫子市中峠1604-4

お問い合せは
TEL&FAX 04-7187-1992

目指せ！
全国制覇！

柏リトルシニア
新入部員大募集！！















体験入部 随時受付中！

高校野球で活躍できる
選手の育成を目指しています！！



H24年度
第40回 日本リトルシニア野球選手権 全国大会出場

H22年度
第16回 リトルシニア全国選抜野球大会 全国大会出場

詳しくはHPから！ 柏リトルシニア 検索

お問合せ

柏リトルシニア野球協会
事務局長 酒井 04-7138-1413